

ヒミツの女子座談会



次年度広報委員長予定者
神田 恵菜氏



郡山YEGでは近年、女性の活躍が目覚ましく、現在20名の女性メンバーが在籍しています。理事・役員を務めるメンバーも年々増えており、女性ならではの視点で会に刺激を与えています。今回は、令和4年度理事・役員予定の女性メンバー4名に集まってもらい、郡山YEG活動の中で経験した女性ならではの苦労や、これから女性がどのように関わり、活躍していくべきか今後の展望について話し合っていました。



次年度専務予定者
石川 恭世氏



次年度広報副委員長予定者
渡邊 まりこ氏



次年度広報副委員長予定者
横山 亜紀子氏

■ 仕事や家庭がある中で、どのように郡山YEG活動と向き合っていますか？

渡邊：YEGは女性にとって敷居が高いと思っている方も多いと思います。でも、入会してみると、女性が関わりやすい環境を整えてくれて、家庭や仕事を優先してもそれを尊重してくれる。委員会や例会にZoomで気軽に参加できるのもいいですね。子育てしている女性メンバーは中々外に出られない時も多いので。

横山：無理しなくていいと、優しく声を掛けていただけるのは嬉しいですね。「委員会があるから絶対来てね」ということは全くないので、雰囲気はいいです。

石川：仕事、家族などがある中で、何かしら諦めないといけない部分もあって、どうしても周りの協力は必要になってくる。男性も女性も同じ立ち位置で話し合える環境があれば、もっと活性化していく団体になると思いますね。

神田：私の場合、例会の日や事業などで現地参加する場合は、前もって主人にお願いして子

守りをしてもらっています。

横山：私も主人に協力してもらっていますが、それでも難しい時は、郡山市のベビーシッター派遣サービスを利用しています。小学生まではOKなので、こちらでご飯を作っておけば、夕飯も食べさせてくれます。主人にお願いするばかりではなくお互いにストレスがないように進めています。これからはこういったサポートがもっと増えて欲しいですね。

渡邊：企業もそうですが、YEGのような団体も男女平等になっていくことが必要になりますよね。男女平等の世の中といっても、実際はそうでないことが多いけど、郡山YEGは真摯に男女平等に取り組んでいる団体だと感じています。

石川：「女の幸せは結婚です」はもう昔の話。それじゃ、男の幸せって何ですかって思う。女の幸せ＝結婚というのは死語になっていくはずですよ。

渡邊：そのためには経済的、精神的な自立が必要になってきますよね。

■ 皆さんは次年度、理事役員となります。やってみたいこと、抱負をお願いします。

神田：私は次年度、広報委員長を務めさせて頂きますが、赤ちゃんや子どもを連れて来ての委員会をやってもいいと思うんです。

石川：それは面白い！子どもたちが賑やかにしている方が委員会が盛り上がるかも。

横山：事業を通じて、女性が活躍しやすい場所の創造を手助けしていきたい。古きことは良きことという考えも大事ですが、女性活躍においては新たな考え方で進めていきたいと思います。

渡邊：YEGメンバーではない女性とも積極的に交流したい。活躍している女性と接点を持ち、新たな事業や活動をしていければ、それが経済の発展にもつながっていくと思いますね。

石川：私は次年度執行部ということで、更に女性が活躍できる環境を作っていきたい。そのためには、女性が楽しんでいる、活躍していることを対内外に発信していく。そのモデルケースを作っていく予定です。そのために、男性メンバーにはしっかりと支えてもらおうと思います(笑)。